

## Q&A KGT2-100

Q 本製品以外に準備する機器や消耗品は？

A ルミノメーター、冷却遠心機、アスピレーター、測定用チューブ（測定用プレート）、マイクロピペッター、滅菌水（ATPフリー水）、など。 必要に応じて細菌の培養や廃棄に必要な物品。

Q 牛乳に含まれるATPを含めずに菌由来のATPを測定できますか？ 牛乳中の脂肪分などが測定値に影響しませんか？

A 専用の前処理試薬と操作により、牛乳中の発光阻害成分と菌体を分離してバックグラウンドATPを分解する仕様です。 菌由来のATPを高感度に測定することができます。

Q 乳製品や乳飲料、例えばカフェラテ中の菌由来のATPを測定できますか？

A カフェラテは測定実績があります。 プロトコール操作で問題なく測定できます。

Q ウェルプレートで測定できますか？

A 発光測定するまでの検体前処理にウェルプレートの使用は不向きです。 シングルチューブをご利用ください。 発光測定には白色（または黒色）ウェルプレートの使用は可能です。 ウェルプレート対応のルミノメーターをご使用の場合、測定ウエルの指定と動作プログラムを事前に確認設定してください。

Q 発光試薬に含まれるルシフェラーゼのオリジンは何でしょうか？ カルタヘナ法に準拠していますでしょうか？

A 北米産ホタル由来のルシフェラーゼを発光酵素として利用しています。 酵素とその製法はカルタヘナ法に準拠しています。